

6つの視点での評価に係る事務局整理表

評価の視点 (評価基準)	番号と評価事項【計50項目】 ※番号は、中期計画及び年度計画の番号	
① 顕著 顕著な成果を あげた取組 3項目	4	県立大学独自の「もやいすと育成システム」や「学生GP制度」を通じた地域の諸課題を題材とする教育の推進
	10	個人指導や試験対策講義による第34回管理栄養士国家試験合格率100%の達成
	20	科研費への応募率が7年連続で100%達成
② 独自 大学の色や特性を 活かした取組 2項目⇒1項目	27	国際シンポジウム「アジアで進むイノベーション」の開催／県民のニーズに応える学習機会の提供
	31	モンタナ大学とのMOU締結／「日本」や「熊本」を英語で学ぶ留学生受入プログラム「Japan Studies」の実施
③ 新規 新たな取組 1項目	5	「もやいすとグローバル育成プログラム」の構築／大学院における高度グローバル人材育成の取組み (※法人自己評価S)
④ 着実 継続的な実施により 着実な成果をあげた 取組 16項目	2	環境共生学研究科における水銀研究留学生の継続的な受入れ／外国人留学生受入れに係る改善の取組み
	8	学修成果の評価の方針策定に向けた取組み
	13	グローバル化の推進に向けた「国際教育交流センター」設置
	16	学生の心身に係る健康支援と修学支援への取組
	17	九州地区平均を上回る就職率98.0%の確保
	18	学生の就業力の育成と県内就職の促進
	19	各研究科における地域課題に貢献する研究の推進と成果の発信
	24	地域貢献研究事業等を活用した地域貢献の推進
	25	新「食育ビジョン」に基づく学生と地域の食育・健康に関する取組み
	29	海外滞在中の学生向けの新たな危機管理対応サービスの提供開始
	33	理事長と学長による政策的、効果的な大学運営と社会の変化への対応
	34	総合性と専門性のバランスによる知の形成に向けた学長直属のIR室設置等の取組み
	38	プロパー職員の人材育成に係る研修体制やインセンティブの充実
	39	「アクションプラン」の策定・実行による時間外勤務縮減や業務改善の推進
⑤ 注目 マスコミ・報道等から 注目された取組 該当なし⇒1項目	27	国際シンポジウム「アジアで進むイノベーション」の開催／県民のニーズに応える学習機会の提供
	⑥ 課題 進行の遅れがみられ る又は改善が望まれ る取組 1項目	3

評価の視点 (評価基準)	番号と評価事項【計50項目】 ※番号は、中期計画及び年度計画の番号	
	1	国の高大接続改革を踏まえた大学入学者選抜改革への対応
	6	英語を含む外国語教育の改善
	7	学生の英語能力の向上に向けた取組の推進
	9	全学部全学科（環境共生学科食健康環境学専攻を除く）へのキャップ制導入
	11	中期的な人事計画に基づく教員採用の実施
	12	全学FDにおける参加者の確保
	14	ボランティア活動や課外活動の活性化に向けた課題の検討
	15	「高等教育の無償化」導入への円滑な対応
	21	研究支援体制の充実・強化（外部研究資金の獲得）
	22	研究支援体制の充実・強化（研究推進体制の整備）
	23	リポジトリ・アーカイブ資料等の学術情報基盤の充実
	26	他大学・研究機関等と連携した共同研究・受託研究
	28	留学に興味がある学生のサポート体制の強化
	30	学生の国際的視野の涵養への取組
	32	海外協定校等との研究者交流や共同研究等の実施
	35	計画的なSDの実施
	36	個人評価制度等による教員の教育研究活動の評価と改善
	37	女性教員比率20%以上に向けた取組の推進
	40	入学志願者数の水準確保／学生納付金の安定確保
	41	研究支援体制の充実・強化（財政的基盤の強化）
	42	熊本県立大学未来基金の活用
	43	経費節減に係る取組の点検・改善と効率的な運営及び経費抑制の実施
	45	教育研究活動に係る積極的な情報発信と法人運営に係る説明責任への対応
	46	施設設備の適正な維持管理と計画的な整備改修の実施
	48	防災・減災の拠点形成に向けたBCP策定等の取組み
	49	教職員の心身に係る健康相談・健康管理の実施
	50	学生及び教職員への人権侵害に関する意識啓発と相談対応への取組

※その他
 (「6つの評価」の視点
 に該当しないが順調
 に取り組んでいる)
 27項目